

令和4年度第2回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日時	令和5年2月16日(木) 午後2時～午後4時	
場所	碧南市役所 7階 議員大会議室	
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	<p>■禰宜田市長</p> <p>□石川委員 ■横山委員 ■三島委員</p> <p>□磯貝委員 ■寺田委員 □金原委員</p> <p>■岩崎委員 □三浦委員 ■西川委員</p> <p>□小林委員 ■戸間委員 ■天野委員</p> <p>■鈴木委員 ■永坂委員 ■高須委員</p>
	事務局	遠山総務部長、杉浦経営企画課長、鈴木経営企画政策推進係長、守川主事、杉浦商工課長
傍聴者	2名	
次第	<p>1 市長あいさつ</p> <p>2 碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の更なる推進にむけて</p> <p>3 企業版ふるさと納税の取り組み状況について</p> <p>4 意見交換</p>	
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ	
2～4	<p>○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明</p> <p>○2から3については議長(市長)により進行、事務局から資料説明</p> <p>○4意見交換により聴取した内容は以下のとおり</p>	
委員からの主な発言		
次第4よりの意見		
横山委員	<p>○防犯カメラは、13商店街のうち9商店街の主に道路に設置をしている。こども100当番や高齢者の見守り協定を応援している。商店街の街路灯は全てLED化している。</p> <p>○商店街は後継者不足でどんどん廃業している。10年で2、3割減っている。できれば75周年ということで、地元商店街のプレミアム商品券を発行してほしい。</p> <p>○医療18歳の無償化について、碧南市は入院までしかしていないので、少子化対策のために通院までしてほしい。</p>	

事務局	<p>○プレミアム商品券について今のところ予定はない。もし、商店街からやりたいという相談があれば、県の補助金を活用しつつ、実施できるのか検討する。</p> <p>○18歳の医療費については、通院まで無償化をという声は上がっている。県下の状況を把握しながら検討を進めていく。</p> <p>○碧南市は0のつく周年に力を入れている。5のつく周年は冠事業のみとしている。</p>
三島委員	<p>○ふるさと納税で農産物を多く扱ってもらっており、感謝している。</p> <p>○農業水産課でSNSを使ってPRをしてもらっている。非常に細かいところまで紹介してもらいたい。農業の良いところをPRしてもらいたい。</p> <p>○優良農地の保全とあったが、西端地区の優良農地がどんどん減っているということ覚えておいてほしい。碧海5市で100年も経たないうちに全部の農地がなくなってしまう。工業とバランスの取れた開発をお願いしたい。</p> <p>○農業で問題になっているのが、燃油の高騰である。肥料、その他資材の費用も上がっている。このような状態であると、後継者も育たず、衰退していつてしまう。農業への支援をしっかりと行ってほしい。</p>
事務局	<p>○碧南市では生産者と会って取材したり、インスタグラムを活用して、地産地消や食育に力を入れている。また、保育園幼稚園に出向いて食の大切さを伝えている。</p> <p>○燃油や肥料の高騰については承知している。肥料について、次年度国県の補助に市として更に上乗せして農家を支援したい。</p>
寺田委員	<p>○港やビーチコート等、引き続き整備促進をしてほしい。要望活動や港湾の支援をお願いしたい。</p> <p>○働き手、担い手の不足が課題である。人材確保のために取り組んでいる企業へのフォローアップや支援をしていただきたい。</p>
事務局	<p>○いただいた意見をしっかりと担当に伝えます。</p>
岩崎委員	<p>○北部産業用地立地促進事業について、だいたいどれぐらいの雇用を考えているのか。</p> <p>○農業振興地域整備計画定期変更事業について、農地を維持できない話をよく聞く。農地の維持について碧南市はちゃんとできているのか。</p> <p>○スポーツ振興基金について、将来使う明確な目的はあるのか。</p> <p>○18歳以下の医療費無料化については、桑名市は全国で3例目と聞いた。急ぐ必要はないと思っている。こども家庭庁ができるので、国が動くのではないか。</p> <p>○部活動の地域支援は、地域に支援の仕組みを作る必要がある。クラブ活動の指導者を地域で募集して、学校へ派遣する。総合型スポーツクラブとして一体化していく。総合型スポーツクラブで文化系を行っても構わない。総合型スポーツクラブを市として支援するのは名目が立つのではないか。</p> <p>○企業版ふるさと納税の人材派遣型をはじめて知った。</p> <p>○碧南市の食堂が大戸屋になっていた。前は、碧南の人参を使った料理等が食べれた。大口屋に碧南の産品を使ってもらって交渉の余地はないのか。営利企業に貸すことで、起債の返還は大丈夫だったか。</p>

事務局	<p>○北部産業用地立地促進事業について、西端地区で製造業の進出を促している。製造業が経済の発展、雇用に効果的である。昨年7月、北部の雁道町に操業を開始している企業もあり従業員は13名と伺っている。</p> <p>○農業振興地域整備計画定期変更事業について、国も農地の衰退を危惧している。法改正によって、令和6年度末までに将来農用地を誰が担うのか計画を作る事となっている。碧南市、JA、生産者で話し合いの場を設けて、2年間かけて農地を継続的に使えるように考えていきたい。</p> <p>○スポーツ振興基金の明確な目的は掲げていない。グラウンドを作るという大まかな目的はある。</p> <p>○部活動の地域移行について、国の考え方は会計年度任用職員の人件費に補助を出す方針である。碧南市においては、教育長のもと地域の関係者を確保できるように動き、学校現場からも調整する職員を出してもらい、手探りながら進めていく。</p> <p>○企業版ふるさと納税は引き続き進めていく。</p> <p>○食堂については、元の会社は同じまま、フランチャイズ契約を行った。営業の形態を変えたいという申し出のもと進んだ。起債の返還について、積み立てを行っており、起債は借りていないので問題ない。</p>
三島委員	<p>○農地維持について、耕作放棄地域はゼロである。</p>
高須委員	<p>○農村生活アドバイザーを2年間行っている。コロナになる前は、碧南の小麦を使ってうどん作りをしていた。それができなくなって、食育について紙芝居を保育園等で行った。去年の3月卒園に向けてオアシスという花の吸水スポンジへ花を飾ったものが好評であった。去年の夏にJAの碧南南支店の方に関わってもらい、あおいパークでうどん作りをやった。好評であったため、今年もやりたい。引き続き、農産物のPRをしていきたい。</p> <p>○あおいパークの産直をもっと大きくできないのかと言われたことがある。</p>
事務局	<p>○あおいパークについて、開園して25年で老朽化も進んでいる。関係者で今後について検討している。具体的な話はまだ出ていない。現在は関係機関と調整中である。</p>
永坂委員	<p>○屋根のソーラーパネルの修理代が高い。今は電気も買ってもらえない。</p> <p>○あおいパークの風呂の利用が多く、順番待ちができています。</p> <p>○市民病院の中の売店がなくなった。</p> <p>○あおいパークの風呂はボイラーの関係でいつから休みになるのか。</p>
事務局	<p>○市民病院の売店については、コロナで売り上げがなくなったため撤退した。来年度プロポーザルを行って別の業者を入れる予定。</p> <p>○あおいパークの風呂は、2月20日～3月3日が休みとなる。</p>
鈴木委員	<p>○中学校で英検や漢字検定を前までは学校で受けれたのに、なくなった理由を聞きたい。</p> <p>○成人式は18歳まで下げるとあったが、碧南市は20歳で行っている。下げる話は出ているのか。</p> <p>○市民ふれあいフェスティバルに代わるものはあるのか。</p>

事務局	<p>○英検については所管課に確認し、回答する。</p> <p>○成人式については、年齢を変えずに「二十歳を祝う会」として暫く行っていく。近隣市も同様である。</p> <p>○ふれあいフェスティバルはやめたが、市民や団体が自主的な盛り上がりがあれば支援していきたい。来年度予算の中で、違う形で団体の自主的な集まりに対して75周年の関係で補助金を予定している。</p>
天野委員	<p>○キャッチは昨年で30年を迎えた。</p> <p>○市役所の1階ロビーには、商工課と会議所で行っている優良土産がある。ふるさと納税のカタログには優良土産ということが書かれていない。これらを連携させてはどうか。審査の上で選ばれたものは認定シールを貼っている。優良土産と掲載することで、認知され、モチベーションも上がるのではないか。</p> <p>○海浜水族館、明石公園やおおいパークは市外の利用者が多いと思うが、このままではもったいないと思う。現在行っているスタンプラリー等、他施設との回遊性をもたせて認知されるような仕掛けがあるとよい。</p>
事務局	<p>○ふるさと納税のパンフレットについて、所管であるため持ち帰り次第すぐに進めていきたいと思う。</p> <p>○水族館のリニューアルオープンを機に連携を取るように動いている。明石公園で購入した回数券の頭を水族館に持っていけば、割引を受けられる等はじめて数年が経過し、好評である。</p>
戸間委員	<p>○観光について、他の市はPayPayの割引をやっている。絶対行くことがないであろう店に行き、新しい発見がある。新しい人の流れを呼び込むために、考えていただきたい。</p> <p>○バッテリーEVに関して、無料ではなくてもよいので市役所にもう1、2基ほど用意してもらいたい。</p> <p>○スポーツ振興基金の積み立てについて、BMXの練習する場所がない。スケートボードパークでも練習できるが初心者レベルである。BMXの練習場所を検討していただきたい。タータンを使った陸上競技場が碧南市にあると有難い。</p>
事務局	<p>○PayPayのポイント還元について、令和3年度にポイント還元策も検討したが、基本的には市民に還元したいため、最終的には地域振興券という形になった。現在のPayPayの手数料を考慮しつつ、今後も研究していきたい。</p> <p>○市のEV充電器については、次の充電場所までの一時凌ぎのものである。これはカーボンニュートラルの機運が高まっていない時に整備したものである。しかし、カーボンニュートラルの機運の高まりや次世代自動車の支援も始めているため、更新のタイミング等で急速充電機への更新を考えていきたい。</p> <p>○スポーツ振興基金について、スポーツ課に意見を共有させていただく。</p>

西川委員	<p>○M&A を行っている中で、8社ほど会社を売ってほしいという相談がある。7月から現在2社譲り渡した。なぜかというとは後継者不足だからである。名古屋は買いたい企業が多いが、碧南市は売りたい企業が多いのではないか。碧南市は事業継承が進んでいないのではないか。取引のない碧南市の企業からもよく売りたいという相談がある。企業版ふるさと納税人材派遣型を使って、このような事業を進めてはどうか。</p> <p>○会社を売った方は、遺言信託で銀行は対応している。岡崎市等10自治体と連携協定を結んでいる。碧南市では2度ほど断れてしまっている。是非とも市と連携してやっていきたい。</p>
事務局	<p>○事業承継については、昨年度9月頃から商工会議所で事業承継マッチングスキームを商工会議所、日本政策金融公庫と県の事業承継引継ぎセンターの3社で手を結んで毎月1回、相談会を商工会議所で開催している。市も昨年末頃から参加して、一緒にPRを行っている。当初は1日2件ほどの相談があると伺った。</p> <p>○遺言信託について、岡崎市等に情報を聞いて、市としてどのようにするか考え、回答させていただく。</p>